

梅田雅孝先生:Lancet (2010) 375:2234-2243.

“アメリカドクトカゲの世界征服計画-DURATION#3”

Once weekly exenatide compared with insulin glargine titrated to target in patients with type 2 diabetes (DURATION-3): an open-label randomised trial

【背景】インクレチン製剤の発売以降、2型糖尿病治療はパラダイムシフトを迎え、リリー社は、アメリカドクトカゲ由来の DPP-4 抵抗性の GLP-1 受容体作動ペプチド; exenatide を開発、現在は週に1回打つだけでよいという exenatide を武器に世界征服をたくらんでいます。。

【方法】メトホルミンや SU 治療では目標を達成しない 2 型糖尿病患者 456 名を、週 1 回の exenatide; Ex群(n=233)と目標血糖になるよう持効型インスリン(Glargine)を調整する GI 群(n=223)に割付、26 週間の HbA1c、体重など代謝マーカーの変化を検討しました。

【結果】Ex群は、対 GI 群にて、8 週目から 26 週まで持続的に HbA1c の有意な低下を認めました(Ex 群-1.5% vs GI 群-1.3%)。体重も 2 週目以降 Ex 群は GI 群より有意に減少し、最終的には GI 群の +1kg の増加に対し、-3kg の減少を認めました。血糖プロフィールに関しては、GI が食前血糖を下げているのに対し、Ex 群は食後がさがり血糖の変動幅も抑えていました。Exenatide 治療は、総コレステロール値、収縮期血圧、心拍数、高感度 CRP など、体重減少とリンクして代謝マーカーの改善を認める半面、注射部位の反応、嘔気、下痢などの有害事象が GI 治療に比べて多く認められました。

【結論】週 1 回の exenatide は、26 週間の短期決戦では、かなり有効性が高いようです。リベンジに帰ってきた、梅田先生のみもとが、獲物を狙うドクトカゲの如く変貌していたのが、気になります。。。 (文責 阿比留)